

議 長

# 委員会行政視察報告書

委員会名	産業建設常任委員会
出席委員等	中尾 広城 委員長 和気 信子 副委員長 梶本 茂麿 委員 木下 豊和 委員 角谷 英男 委員 松本 雪美 委員(議長) (随員: 議会事務局 川口哲生)
実施年月日	平成23年8月16日(火)~17日(水)
視察先	三重県いなべ市(8/16) 三重県伊賀市(8/17)
視察項目	いなべ市農業公園について 伊賀市上野市駅前市街地再開発事業について

## 視察内容

### 三重県いなべ市(8/16)

いなべ市議会事務局課長補佐 岩谷氏からの挨拶の後、市の概要並びに市議会の概要について説明を受ける。

続いて、いなべ市農林商工部 農業公園長 岡氏より、農業公園の施設整備(建設)の経緯と概要、管理運営(農業公園・農業公園内レストラン:フラール)について説明を受ける。

説明の概要としては、農業公園については、38haの梅林公園と18haのエコ福祉広場(ポタン園、しょうぶ園、アジサイ園、パークゴルフ場)の2つの公園をいなべ市農業公園として整備しており、その整備・管理にあたっては、農業振興(特産品の開発) 農村と都市との交流(イベントの実施、農園付宿泊施設の運営) 高齢者の活躍の場の創出(生涯現役・社会参加型福祉) 循環型社会の実現(生ゴミの堆肥化、BDF事業)という4つの理念を重視し、その実現に向けて取り組んでいるとの説明の後、質疑に入りました。

質疑では、農村と都市との交流として、農園付宿泊施設(クラインガルデン)の運営状況について説明を求めたのに対し、この事業については、8区画を整備し貸出しすることにより、農業体験や田舎にしかない、やすらぎの場の提供を目的としているとのことであり、1区画を年間50万円で貸し出しをおこなっているとの説明を受けました。

次に、入園料を500円としているが、この料金設定にした理由について、説明を求めたのに対し、施設の年間の維持管理費については、1千万円程度(500円×2万人)が必要であり、他市の施設と比べると若干の差はあると考えているが、現状として、500円の入園料を支払って来園される方については、マナーも良くごみ等の不法投棄も減少しており、特に、一番懸念していた入場者数についても、現状としては入場者数も2万人を上回っているとのことでした。

次に、農業公園内でイベント等を実施する際には、商工会等の団体と連携し、事業を実施しているのかとの問いに、農業公園内で実施するまつり等のイベント時には、商工会には、出展等の協力をいただいているが、現状としては、シルバー人材センターと連携した事業が大半であるとのことでした。以上がおもな質疑の内容となります。

その後、農業公園長 岡氏の案内により、園内の主要な施設見学をおこないました。

エコ福祉広場・・・コンビネーション遊具、パークゴルフ場

梅林公園・・・直売施設、農園付宿泊施設(クラインガルデン)、ドックラン施設

以上が、いなべ市農業公園の視察の概要となります。

三重県伊賀市（8/17）

伊賀市議会事務局長 森本氏からの挨拶の後、市の概要並びに市議会の概要について説明を受ける。

続いて、中心市街地活性化推進室 市街地活性化推進監 澤井氏より、視察項目である「上野市駅前地区第一種市街地再開発事業」の概要について説明を受ける。その主な内容としては、事業手法としては第一種市街地再開発事業であり、地区の概要としては伊賀鉄道上野市駅前広場、上野産業会館、上野商工会議所等を含む約 1.1ha の区域であり、用途地域等は商業地域（建ぺい率 80%・容積率 400%）、総事業費は約 56 億円であり、平成 24 年の事業完了予定となっているとの説明を受けました。

続いて、視察実施に当たり、作成した以下の調査事項について、市街地活性化推進室主幹堀川氏より、説明を受けました。なお、調査事項としては、

- 1、地権者及び事業所との協議内容について（地権者、事業所からの要望内容、地権者、事業所以外の市民からの要望をどのように反映しているのか、地元への説明会の実施回数、市民説明会の実施の有無）
- 2、バリアフリー化について（駅前広場、周辺道路、再開発ビル、計画及び実施状況、施設のバリアフリー化には、福祉団体からの意見等を反映しているのか等々）
- 3、事業計画の変更について（変更前と変更後の相違点、計画変更の理由、事業計画を変更するにあたり、市民、地権者、事業所との調整内容）等々に

わたり、調査事項を事前に依頼し、別添「泉南市産業建設常任委員会行政視察にかかる調査事項」により、回答及び説明を受け、質疑に入りました。

質疑では、地元説明会の開催頻度として、調査事項の回答では、平成 15 年から現在までに 23 回実施しているが、この頻度については多いように思うが、その内容を示せとの問いに、伊賀市については、平成 16 年に 1 市 3 町 2 村の合併により市制施行をおこなったところであり、それぞれ合併前の町や村への説明をおこなったことにより、開催頻度が多くなっているとのことでした。

次に、この市街地再開発事業の実施にあたり、議会のかかわり方として、特別委員会を設置し取り組んでいるのかとの問いに、本事業については、所管の産業建設常任委員会での事業推進にあたり、議論をいただいているところであり、特別委員会を設置はしていないというのが現状であるとのことでした。

次に、本事業に対し反対の立場をとっている地権者への対応状況について説明を求めたのに対し、今回の事業については、市街地再開発法により、反対の地権者については自動的に、権利変換をするということになり、対象の地権者が 1 名あった中で、最終的には、その権利を処分されたというのが現状であるとの説明を受けました。

以上が、上野市駅前地区第一種市街地再開発事業の視察の概要となります。

総括

2 日間両日にわたる視察については、時間的配分の厳しい日程の中、実施しましたが、それぞれの市の担当職員による説明に対し、各委員から活発な質疑が行われ、全体的に充実した視察であったと考えており、十分に所期の目的を達成することができたと考えております。

今回の視察により得た内容については、今後の市政に反映させるとともに、市の発展につなげていきたいと考えております。

上記のとおり報告いたします。なお、資料等については、別添のとおりです。

平成 23 年 8 月 18 日  
産業建設常任委員会  
委員長 中尾 広城

いなべ市農業公園視察



いなべ市農林商工部 農業公園長 岡氏 挨拶



中尾委員長 挨拶



質疑応答



農業公園内、エコ広場、梅林公園入口にて



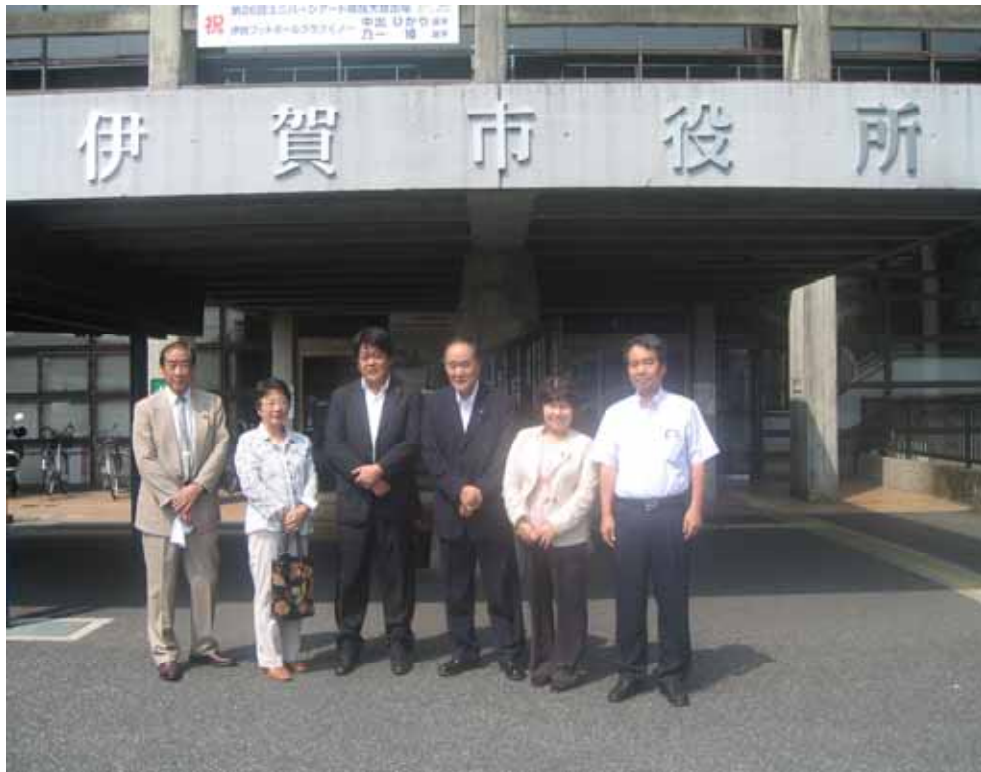


農園付宿泊施設（クラインガルデン）



ドックラン施設（うめぼ～どっぐらん）

伊賀市視察



伊賀市議会事務局長 森本氏より挨拶



質疑応答

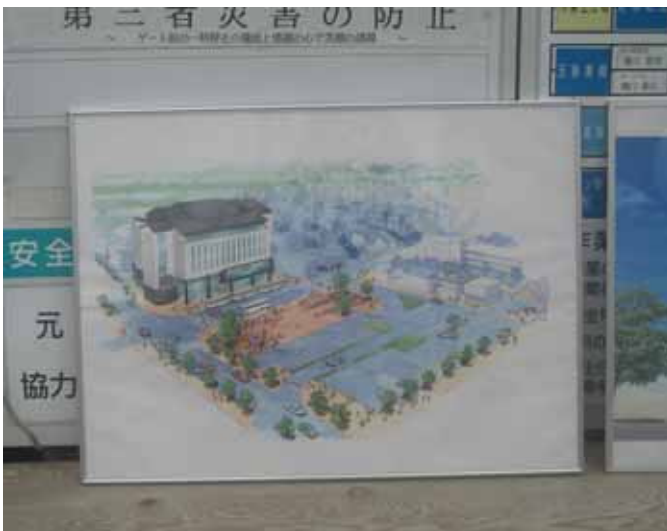


上野市駅前及び駅前広場再開発予定地視察





駅前ビル建設現場視察



駅前ビル完成パース図